

## I. 令和4年度事業報告

### 1. シン・ヤマナシ構築委員会

委員長 長澤重俊

令和4年度のシン・ヤマナシ構築委員会は①提言部会、②リニア・中部横断道部会、③勉強会部会という3つの部会によって運営してきました。昨年度の総会にて承認された経済同友会の本分である提言活動にその重きを置く、という委員会方針のもと、その提言に必要な情報を勉強会部会で適宜得ながら、それを提言部会で咀嚼、検討して4年ぶりの提言「シン・ヤマナシの実現に向けて」にまとめ、8月1日に長崎知事に手交いたしました。またリニア・中部横断道部会は山梨大学・武藤先生とも連携して、その経済効果について研究し記者発表するなど有意義な活動を行いました。

#### (1) 提言部会 活動報告

部会長：長澤重俊

メンバー：雨宮潔、小澤健太郎、奈良田伸司、古屋賀章、宮崎順子、  
横山明正

#### ◇活動の概要

当初は令和5年5月頃に山梨県に提言を提出しようと考え、準備委員会を立ち上げどんな形で進めていくかを議論していましたが、議論を深めるにつれてメンバーとしてはこのまま提言としてまとめていく方が良いと判断して、そのまま提言部会に名称を変更して活動を継続しました。

その後、議論や学生とのラウンドテーブルを重ね、提言の目的は「若者が幸せに暮らせる山梨にする」ことに決め、その主題として山梨県全体に「喜業家」を溢れさせていくことを目指すことにしました。造語である喜業家とは、「楽しみながら事業を起こす、あるいは参画、支援する事業者・個人」を指し、山梨県の特長でもある、濃い人と人のつながり、ネットワークをベースにするものです。これまで山梨県に存在する様々な産業を、デジタルを基盤として新しく定義すると共に、それぞれ単独ではなく結合させることによって新しい産業として生まれ変わっていくことをシン・ヤマナシとイメージしています。山梨に住む若者がそのネットワークを生かして楽しみながら事業を起こす、またその若者を応援する人々も共に喜びを分かち合う、そういった全体をエコシステムと呼び、その構築を目指すことを主旨として提言にまとめました。

## ◇活動実績報告

### ■提言部会による話し合い

令和3年度に2回準備委員会を開いておりましたので、今年度の活動としては第3回から、という事でカウントしますと、提言部会を13回開催したことになります。山梨文化会館の1室をお借りして、毎回2時間みっちり議論させていただき、お忙しいメンバーの方々には多大なるご協力を頂きましたことを改めて感謝申し上げます。

- ・10月14日 第3回準備委員会 於：岡島
- ・11月25日 第4回準備委員会 於：山梨文化会館
- ・12月22日 第5回提言部会（名称変更） 於：山梨文化会館
- ・1月24日 第6回提言部会 於：山梨文化会館
- ・3月7日 第7回提言部会 於：山梨文化会館
- ・3月24日 第8回提言部会 於：山梨文化会館
- ・4月28日 第9回提言部会 於：山梨文化会館
- ・5月12日 第10回提言部会 於：山梨文化会館
- ・5月31日 第11回提言部会 於：山梨文化会館
- ・6月6日 第12回提言部会 於：山梨文化会館
- ・8月31日 第13回提言部会 於：経済同友会事務局

### ■学生とのラウンドテーブル

若者が幸せに暮らせる山梨とは？という問いを考えるためには、どうしても実際に若者の話を聞く必要がある、ということになり学生とのラウンドテーブルを2回開催して意見交換をしました。若者としてZ世代である大学生の話を聞いたのですが、人と人のつながりに価値を感じるといった同友会メンバーと同じ価値観の部分もあり提言作成に大いに参考になりました。またこのラウンドテーブル開催に当たっては(株)グッドウェイ・藤野代表に大変なご協力いただいたことに感謝申し上げます。

- ・12月7日 第1回 「学生が考えるシン・ヤマナシの構築とは」
- ・2月24日 第2回 「若者が幸せに暮らす山梨の実現に向けて」  
※「勉強会部会」にて詳述

### ■長崎知事に提言を手交

日時 2023年8月1日（火） 13:00～13:20

場所 山梨県庁3階 第1応接室

提言書 「シン・ヤマナシ実現に向けて」（総会資料巻末に掲載）

～若者が幸せに暮らせる山梨にするために～  
～人を中心に据えた経済への転換、再定義～



■山梨県知事政策局と意見交換

日時 2023年8月31日(木) 14:30～15:35

場所 山梨県庁中2階 特別会議室

(知事政策局) 三科隆人政策参事、堀内由加子政策主幹



◇今後の活動について

今後、当部会名称を「シン・無尽部会」として改め、提言のなかでエンハンス機能と位置付けた繋がりを創造する場であるシン・無尽（繋がり創造する場）と、起業したいと思った若者が一番適切な情報を得られる仕組みとしてのメンター制度を実際に展開していくことに軸足を移していく予定です。

以上

## (2) リニア中部横断道部会 活動報告

部会長 五領田周司

今年度から「リニア部会」「中部横断道部会」を統合し、リニア中部横断道部会として活動を行ってきた。部会活動の方向性についてはリニア中部横断道幹部会を入倉代表、長澤代表参加のもと開催し以下のとおり決定し活動を行った。

- ①リニアについては2027年開業の予定が静岡県の水問題でかなり遅れそうではあるが、2018年8月にリニア開通による経済効果を発表し、山梨県に対して経済効果を高める為にはLRTによる2次交通の整備が必要であると提言を行い、また、昨年度山梨大学武藤教授に2次交通の有無による経済効果差を算出頂き大幅な効果を（補助金導入時B/C 3.3）見いだせたことから再度提言を行い実行に結びつける事が重要であると考えた。一方山梨県知事や甲府市長の最近のコメントから、2次交通の検討も伺えるため今後の活動は行政が検討している2次交通の調査・確認を実施していき、提言の時期・やり方を検討していく事とした。
- ②中部横断道自動車道については、2021年8月に南部区間が開通し（双葉～新清水間）南アルプス市を中心にコストコや化粧品メーカー等の製造工場進出等大きな経済効果を生み出している。

一方、今後事業化予定の北部区間（長坂～小諸・佐久間）については、昨年国交省甲府河川国道事務所から盛り上げを図って早期事業化を図りたいと要請があった事もあり、南部区間と同様に山梨大学武藤教授に依頼し北部区間開通による経済効果を算出し、共同発表をする事とした。また盛り上げ効果を高めるため、北部区間の終点である佐久商工会議所にも参加して頂き山梨経済同友会・中部横断道自動車道経済懇談会（佐久商工会議所会頭が会長）・山梨大学の三者共同発表という形で実施し、発表効果を高められるよう活動を行った。

その結果2023年7月11日（火）13時半から山梨大学にて三者共同プレス発表を行った。山梨大学中村学長の挨拶に始まり、武藤教授により経済効果を（総便益297億円/年（山梨県：73.5億円/年）、費用便益比1.60）と発表、続いて山梨経済同友会入倉代表がコメントを発表し、中部横断自動車道経済懇談会中川会長がコメントを発表した。この模様をテレビ放映3社（YBS, UTY, NHK）新聞報道4社（山日、日経、読売、朝日等）に報道して頂いた。

更に1週間後の18日、国交省が山梨県と長野県に対して中部横断自動車道北部区間の詳細ルートの提示を行い、今後住民説明会の実施、環境アセスを実施し、事業化の決定に進み出した。

- 今年度の部会活動報告については、後述参照。
- 来年度の部会活動については、リニアの開業は不透明（2027年を当初予定）ではあるが、中部横断道北部区間（山梨～長野）は事業化決定に向けて動き出したため、引き続き、大規模交通インフラ新設、二次交通整備による山梨経済の持続的な発展を指向し、観光誘致・移住定住の促進を図るべく部会活動を継続していく。

<リニア中部横断道部会 活動詳細報告>

① リニア中部横断道部会 幹部会

日時 令和5年4月17日(月)16時 (於 古名屋ホテル)

内容 前述の今年度活動方針決定

出席者 入倉要代表幹事、長澤代表幹事、深沢事務局長

五領田周司、志村浩男、大嶋敬史、小澤健太郎、依田光人、飯島禎典

② 中部横断自動車道“南部区間”全線開通効果に関するシンポジウム参加

日時 令和4年12月15日(木) 15:00~16:30 (於 山梨県立図書館)

内容 「中部横断自動車道でつながる・ひろがる地域の未来」

主催 山梨県(高速道路推進課)

出席者 五領田周司(パネリストとして登壇)

③ 中部横断自動車道“北部区間”経済効果発表に向けた取組み

■甲府商工会議所への佐久商工会議所との共同発表に向けた支援要請

日時 令和4年12月23日(金)15時 (於 甲府商工会議所)

先方 越石専務理事、岡課長

■佐久商工会議所会頭への経済効果共同発表要請

日時 令和4年12月26日(月)13時 (於 佐久商工会議所)

先方 佐久商工会議所中川会頭、上原専務理事、宮原事務局長、

柳澤 上田商工会議所前会頭

■静岡商工会議所への佐久商工会議所との共同発表に向けた支援要請

日時 令和5年1月12日(木)14時 (於 静岡商工会議所清水事務所)

先方 飯田理事、小澤主幹

■山梨大学武藤教授とのプレス前最終経済効果報告会

日時 令和5年1月31日(火)14時 (於 山梨大学)

内容: プレス内容の確認および共同発表に向けての最終意見調整

出席者 山梨大学大学院総合研究部工学部土木環境工学科

武藤慎一教授、大学院生2名

国交省関東整備局甲府河川国道事務所

留守所長、三森課長

中部横断自動車道経済懇談会

佐久商工会議所宮原事務局長、静岡商工会議所小澤主幹、

甲府商工会議所越石専務理事、岡課長、

山梨県商工会連合会斎藤事務局長

甲府法人会酒井専務理事

山梨経済同友会

入倉要代表、五領田、志村、大嶋、依田、小澤、飯島、深沢事務局長



(5. 1. 31 山梨大学武藤教授とのプレス前最終経済効果報告会)

- 国交省甲府河川国道事務所との情報交換  
日時 令和5年2月15日(水)16時 (於 国交省甲府河川国道事務所)  
先方 三森計画課長
  - 山梨大学武藤教授とのプレス資料確認①  
日時 令和5年3月3日(金)10時 (於 山梨大学)  
先方 武藤教授、田村研究生
  - 山梨大学武藤教授とのプレス資料確認②  
日時 令和5年3月31日(金)16時 (於 山梨大学)  
先方 武藤教授、田村研究生
  - 山梨大学とのプレス発表打合せ①  
日時 令和5年6月6日(火)15時 (於 山梨大学)  
先方 齊藤防災マネジメント研究センター所長、武藤教授
  - 山梨大学とのプレス発表打合せ②  
日時 令和5年6月19日(月)16時 (於 山梨大学)  
先方 武藤教授、福島工学域支援課課長補佐、梶原広報企画室
  - 山梨大学とのプレス発表打合せ③  
日時 令和5年6月28日(水)10時 (於 山梨大学)  
先方 武藤教授、植村広報企画室長、梶原広報企画室
- ④「中部横断自動車道北部区間(長坂～佐久・小諸間)の開通による整備効果」 3者による共同記者発表  
(山梨大学・山梨経済同友会・中部横断自動車道経済懇談会)  
日時 令和5年7月11日(火)13:30  
場所 山梨大学甲府キャンパス T1号館8階804



(5.7.11 北部区間経済効果のプレス発表)

(以下式次第)

- |        |   |                     |         |
|--------|---|---------------------|---------|
| ○開会挨拶  | 山梨経済同友会   | リニア中部横断道部会長         | 五領田 周司氏 |
| ○出席者紹介 | 山梨経済同友会   | リニア中部横断道部会長         | 五領田 周司氏 |
| 1.     | 山梨大学学長挨拶  |                     | 中村 和彦氏  |
| 2.     | 山梨大学工学域長挨拶  |                     | 中山 栄浩氏  |
| 3.     | 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター長挨拶                                |                     | 齊藤 成彦氏  |
| 4.     | 『中部横断自動車道北部区間（長坂－佐久・小諸間）の開通による整備効果』<br>の研究成果発表・担当学生コメント |                     |         |
|        | 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター教授                                 |                     | 武藤 慎一氏  |
|        | 山梨大学医工農総合教育部 修士1年                                       |                     | 田村 昂氏   |
| 5.     | 山梨経済同友会代表幹事コメント   |                     | 入倉 要氏   |
| 6.     | 中部横断道自動車道経済懇談会長コメント<br>(佐久商工会議所会頭)                      |                     | 中川 正人氏  |
| 7.     | 質疑応答  |                     |         |
| 8.     | 閉会挨拶  | 山梨経済同友会 リニア中部横断道部会長 | 五領田 周司氏 |

(※) 配布資料：『中部横断自動車道北部区間（長坂－佐久・小諸間）の開通による整備効果』説明資料（次ページ以降）

(以下、別添 PDF を使って編集してください)



山梨大学大学院総合研究部（工学域）  
地域防災・マネジメント研究センター  
Center and Environmentally Sustainable Administration Research Center, University of Yamanashi

山梨経済同友会  
Yamanashi Association of Corporate Executives

中部横断自動車道  
経済懇談会

1

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター  
山梨経済同友会/中部横断自動車道経済懇談会

中部横断自動車道  
北部区間(長坂～佐久・小諸間)開通による整備効果

国立大学法人 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 教授 武藤慎一  
山梨経済同友会 代表幹事 入倉 要  
中部横断自動車道経済懇談会会長(佐久商工会議所会頭) 中川 正人

日 時:令和5年7月11日 13:30～

場 所:山梨大学甲府キャンパス T1号館804号室(会議室)

中部横断自動車道の概要

2





# 中部横断自動車道整備による経路変更

【長野市(上田)-甲府市】

開通なしの最短経路

長野市-甲府

開通ありの最短経路



甲府→中央自動車道

甲府→中央自動車道→中部横断道

→長野(上信越)自動車道→長野市(上田市)

→長野(上信越)自動車道→長野市(上田市)

## 経済効果

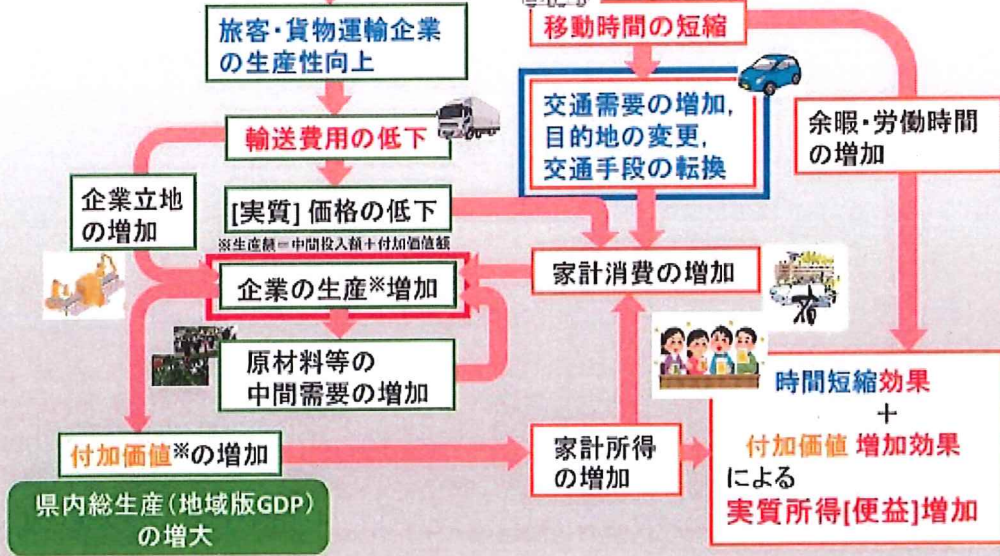
中部横断自動車道開通

交通所要時間短縮



企業の効果

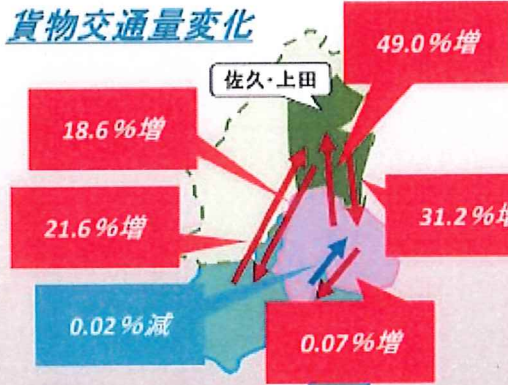
家計の効果



## 貨物・旅客交通量変化

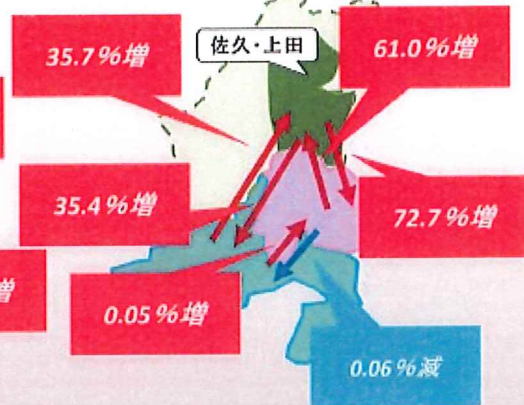
空間的応用一般均衡(SCGE)モデルを使用。  
2015年の産業連関表データ、地域間貨物、  
旅客流動データ等を用いて計算。

### 貨物交通量変化



※静岡の企業の取引先が、山梨から上田に変更されたため。

### 旅客交通量変化



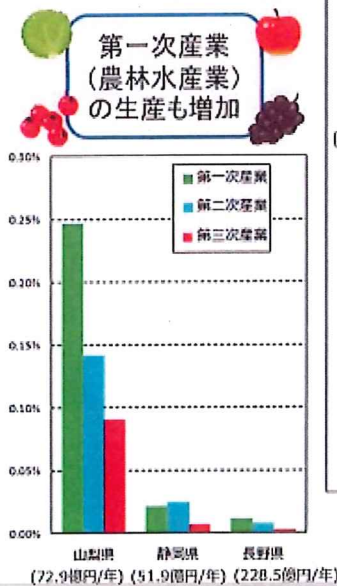
※山梨の人々の旅行先が静岡から上田に変更されたため。

#### 年間当たりの交通増加量

山梨→佐久・上田	【貨物：6.4(万台/年)、	旅客：45.9(万台/年)】
静岡→佐久・上田	【貨物：8.7(万台/年)、	旅客：26.9(万台/年)】
佐久・上田→山梨	【貨物：0.7(万台/年)、	旅客：57.1(万台/年)】
佐久・上田→静岡	【貨物：5.5(万台/年)、	旅客：30.0(万台/年)】

## 生産量変化

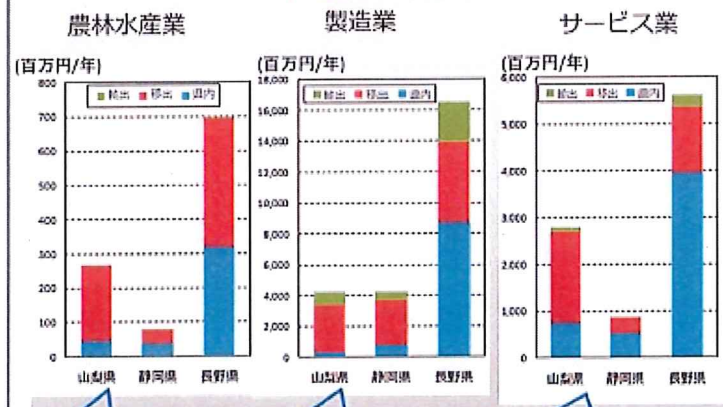
地域・産業別生産量変化率



県内供給の増加に加え、移出の増加による生産量の増加！

### 各地域の生産量変化の内訳

(生産量 = 県内供給 + 移出 + 輸出)



野菜や果物の出荷増加が期待！

製造業の進出による生産増加が期待！

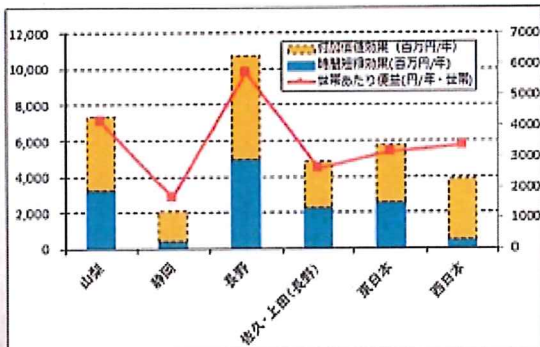
商業や金融、観光(宿泊)の増加が期待！

# 実質所得変化(便益)

## 実質所得変化(便益)

付加価値変化及び時間短縮効果  
(百万円/年)

世帯当たり便益  
(円/年・世帯)



山梨県：年間73.5億円 (約0.12%増)  
 静岡県：年間21.0億円 (約0.01%増)  
 長野県：年間106.9億円 (約0.17%増)  
 (佐久・上田：年間48.3億円 (約0.17%増))

## 最終費用便益分析結果

総便益：6,678億円  
(単年度：297億円/年)

総費用：4,168億円

**費用便益比 1.60**

※総費用は、八千穂～佐久南間の費用1006億円を距離に応じて算出したもの。

出典：国土交通省関東地方整備局

※総便益の計算方法

$$\text{総便益} = \sum_{t=1}^{50} \frac{\text{評価時点の便益}(297\text{億円})}{1 + [\text{社会的割引率}(4\%)]^t}$$

現在価値算出のための社会的割引率：4%  
 基準年次：評価時点(297億円)  
 検討年数：50年

# 経済効果以外に考えられる効果

## 【医療】

救急搬送の時間短縮  
 救命率の向上  
 重篤患者に対する救急医療の支援など



出典：国土交通省関東地方整備局

## 【防災】

想定される被害の軽減  
 災害時による代替ルートなど



出典：NEXCO中日本ETCログデータ(開通前：R15・開通後：R45)

## 【土地利用】

企業立地による不動産価値の上昇  
 住宅地開発による人口の増加など



出典：NEXCO中日本

(3) 勉強会部会活動報告

部会長 泉谷英樹

部会では提言部会で提言を詰めていくにあたり、研究したいテーマについて適宜、勉強会という形で識者を招聘し、知識を深める機会をこれまで以下4回設けてきました。

① 第1回山梨経済同友会ラウンドテーブル

日時 令和4年12月7日(水) 16:00-18:00(ラウンドテーブル)  
18:30-20:00(交流会)

場所 山梨中央銀行 TAKEDA STREET BASE

出席者 モデレーター 藤野宙志氏(株式会社グッドウェイ)  
学生(計10名)

山梨大学、山梨県立大学、山梨学院大学、神奈川大学、法政大学  
山梨経済同友会

長澤代表幹事、入倉代表幹事、古屋、横山、小澤、板倉、雨宮、田丸、  
奈良田、桐井、宮崎、松永、深沢(敬称略)

内容 ラウンドテーブルによる学生との対話を通じて「シン・ヤマナシの構築」  
への実践と提言に繋げるべく、以下をテーマにディスカッション  
「学生が考えるシン・ヤマナシの構築とは」

- ・学生を取巻く現状と理想のギャップ
- ・学生の自己実現欲求(興味関心、価値観、成し遂げたいこと)
- ・学生にとって仕事、就職、企業に期待すること、求めていること
- ・学生が考える山梨と新生日本の未来の姿、再生に必要なこと



② 「山梨県における水素・燃料電池の取り組み」勉強会

日時 令和4年12月13日(火) 16:00-18:00(講演会)  
18:00-20:00(交流会)

場所 ベルクラシック甲府

内容 「水素・燃料電池を知り、山梨の未来を考える」をテーマに以下講演にて勉強会

第一部「ここまで来た水素・燃料電池技術の最前線と、普及に向けた今後の展望」

講師：飯山明裕氏（山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センター）

第二部「山梨で水素・燃料電池産業を活性化させるために必要なことは何か？」

講師：戸田達昭氏（ヴィジョナリーパワー株式会社）



③ 「山梨県における農業の取り組み」勉強会

日 時 令和5年2月9日（木） 16：00-18：00（講演会）

18：00-20：00（交流会）

場 所 古名屋ホテル

内 容 山梨県の農業の状況を俯瞰し、新たな農業の可能性、および現場における様々な課題などについて学ぶため、以下講演にて勉強会

「山梨のアグリビジネスの現状と未来を考える」

講 師：竜沢俊之氏（山梨中央銀行コンサルティング営業部）

若林和美氏（同上）



④ 第2回山梨経済同友会ラウンドテーブル

日時 令和5年2月24日(金) 16:00-18:00(ラウンドテーブル)  
18:30-20:00(交流会)

場所 「4U」株式会社グッドウェイ甲府事務所内

出席者 モデレーター 藤野宙志氏(株式会社グッドウェイ)  
学生(計12名)

山梨大学、山梨県立大学

山梨経済同友会

長澤代表幹事、入倉代表幹事、古屋、水野、板倉、雨宮、奈良田、  
松永、深沢(敬称略)

内容 ラウンドテーブルによる学生との対話を通じて「シン・ヤマナシの構築」への実践と提言に繋げるべく、第一回ラウンドテーブルとメンバーを変えて以下をテーマにディスカッション

「若者が幸せに暮らす山梨の実現に向けて」

- ・山梨の現状、ありたい姿、ありたい姿に向けてあったら嬉しい「取り組み」「仕組」
- ・学生を取巻く現状と理想のギャップ
- ・学生の自己実現欲求(興味関心、価値観、成し遂げたいこと)
- ・学生にとって仕事、就職、企業に期待すること、求めていること
- ・学生が考える山梨と新生日本の未来の姿、再生に必要なこと



〈今後の取り組みについて〉

令和5年8月1日に長崎幸太郎知事に提出した「シン・ヤマナシ実現に向けて」により、今後本提言内容を実現するステージとなります。本勉強会部会では、県庁各部署との意見交換の機会を模索するとともに、提言実現に向けた山梨経済同友会の具体的な動きにおいて、必要な知識や専門性を学ぶ場を設けていきます。提言のエンハンス機能として重要なシン・無尽を実現していくために新たに設置された「シン・無尽部会」と連携して、部会員を増やし、発展的に活動を拡げていきたいと考えます。

以上